

担い手育成特定資産事業 活用事例紹介 小金山 忍さん（陸前高田市）

取材担当 大船渡農業改良普及センター 伊藤 沙南

陸前高田市の小金山忍さん（ピーマン 22a、しょうが 10a、スイートコーン 10a 他）を紹介します。

小金山さんは陸前高田市の出身です。高校卒業後、県外に就職していましたが東日本大震災を機にUターンしました。始めは農業以外の仕事に就いていましたが、ある時体調を崩して仕事の継続が困難になりました。このことをきっかけに、実家の農地を活用して就農することを決意し、令和4年に営農を開始しました。

令和5年度に「新規就農スタートアップ支援事業」を活用し、管理機とハウス1棟を導入しました。管理機を利用することで畝立てにかかる時間が大幅に短縮、管理作業も効率化できました。ハウスはピーマンの育苗に利用していますが、今後、秋から冬にかけての葉物野菜栽培への活用も検討しています。

就農計画に沿って順調に規模拡大を続け、現在は地域内で珍しい品目に挑戦しています。鮮やかな黄金色が特徴の「黄金しょうが」や子実が赤いスイートコーン「大和ルージュ」を栽培中です。また、更なる規模拡大や新たな品目の導入に意気込んでいます。

加えて、農福連携にも力を入れ、労働力の確保と地域雇用の創出にも取り組んでおり、地域の担い手として今後益々の活躍が期待されます。



新規就農者の小金山忍さん



令和5年度事業で導入した管理機